



KAYABA Rally Team 参戦レポート

KAYABA Rally Teamは2024年シーズンに社員ペアでJN-1参戦を目指し、ライセンス取得に向けて完走実績作りとラリースクールの成果検証を兼ねて、各々全日本ラリー選手権実力者(ドラ・コドラ)とペアリングして本大会を2台体制で参戦した。

■ラリーダイジェスト

カヤバ GRヤリス

紅葉が色づき始めた飛騨位山の初日(LEG1)は秋晴れとなり、先日のターマックテストを終えたカヤバ GRヤリスに第2戦から第4戦までドライバーを務めた横尾、コ・ドライバーには全日本ラリー選手権初参戦となる穴井(カヤバMS部)を迎え、万全なセッティングでスタートを切った。

少しblankのあった横尾だったが、SS1のタイムはクラス4位と好調な滑り出しを魅せ、続くSS2ではクラスシリーズチャンピオンの奴田原(ADVAN カヤバ KTMS GRヤリス)に次ぐクラス2位のタイムを叩き出した。その後も大きなミスをする事なく、SS3、SS4、SS5もクラス2位のタイムで走り抜き、後続(クスコ DL WM KZF TL ヤリス)を17秒離して初日をクラス2位(総合7位)で終えた。



夜中より降り出した大粒の雨の影響で11月下旬並みの気温までグッと下がった2日目(LEG2)は、サービスCでウェット仕様へセッティングを替えてスタートをした。SS7ではマシンの調子を伺いながら走る横尾だったが、SS8ではJN-1に食い込むクラストップのタイムを叩き出すなど素晴らしい走りを魅せた。その後も雨が小降りになったと思えば急にドシャブリになったりと、難しくも厳しい路面状況がしばらく続きペースが上げられずに苦しんだが、何とか懸命な走りを続けてクラス3位(総合9位)を獲得。第4戦の久万高原ラリー以来の表彰台を勝ち取った。穴井は初参戦した全日本ラリー選手権で初の表彰台となり、素晴らしい経験と名誉を手にすることが出来た。来年のKAYABA Rally Teamの飛躍に大きな財産を得ることが出来たラリーとなった。

Dr. 横尾 芳則 コメント

カヤバラリーチーム始動2戦目よりチームと一緒にラリーを戦い、最終戦ラリーハイランドマスターズは社員コ・ドライバー穴井君との初コンビで挑むことになりました。とても熱心に取り込んでくれて、第2のドライバーとしてマシンをコントロールしてくれて、無事にゴールまで走り切ることができました。

チームのみんなも1年の集大成として素晴らしい働きをしてくれました。ダンパーもターマックテストで私好みに仕上げて貰い気持ち良く走ることが出来ました。沢山の応援団が駆けつけて下さった中で、一緒に一喜一憂し、学び、挑戦した最終戦だったと思います。応援ありがとうございました。ラリーチームの活動初年、初めの一歩ですがカヤバラリーチームが力強く動き出したと感じています。



Co-Dr. 穴井 謙志郎 コメント



学生の頃から憧れていたトップ選手が集まる全日本ラリーの舞台。これまで経験してきた中でもダントツで速く、集中力も必要なラリーで大きなミスも無くコ・ドライバーとしての仕事を完遂でき、表彰台にも乗れたことはとても大きな自信になりました。応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。大変励みになりました。

天候に翻弄された2日目でしたが、とても難しいコンディションの中、1日目のマージンを守り切る走りを見せてくれた横尾選手には尊敬と感謝の念に堪えません。

来年は最高位のクラスへの参戦というとても大きな挑戦をさせていただきます。カヤバのブランドをアピールすべく、全身全霊で精進させていただきます。引き続きKAYABA Rally Teamの応援をよろしく願いいたします。



KAYABA Rally Team 参戦レポート

KAYABA Rally Teamは2024年シーズンに社員ペアでJN-1参戦を目指し、ライセンス取得に向けて完走実績作りとラリースクールの成果検証を兼ねて、各々全日本ラリー選手権実力者(ドラ・コドラ)とペアリングして本大会を2台体制で参戦した。

■ラリーダイジェスト

カヤバ WedsSportヤリス

JN-5クラスに初めてエントリーしたKAYABA Rally Teamのカヤバ WedsSportヤリスは、ドライバーに全日本ラリー選手権初参戦の石黒(カヤバMS部)と、コ・ドライバーには過去に幾度も全日本シリーズチャンピオンを獲得し、WRC(世界ラリー選手権)の出場経験も持つ田中 直哉を迎え参戦した。

快晴となった初日(LEG1)は、SS1でいきなりクラス上位となるクラス5位(総合37位)のタイムを叩き出し、その存在を轟かせた。クラス中盤勢のタイムには大きな差は無く、数秒差のバトルが続いたが、その後も大きなダメージやマシントラブルも無くしっかりと走り切り、クラス6位まで11.8秒差を残して初日はクラス7位(総合38位)で折り返すことが出来た。



2日目(LEG2)は昨日と違って変わり大雨のスタートとなり、サービスCでウェット仕様へセッティングを変更し、サービスパークを後にした。ウェット経験が少なく不安と緊張が入り混じっていた石黒は、昨夜より降り続いた大雨によりコースに流れ出た泥や落ち葉などの攻略に苦しみながらもSS7とSS10では再びクラス5位の上位タイムを叩き出し、ポジションアップを狙った。

その後もコ・ドライバー田中の冷静な判断とミスの無い的確なナビゲート、難しい路面状況下でのタイヤマネジメントやドライバーへのサポートにより、石黒は安定した走り続けることが出来た。沢山のカヤバサポーターが見守る最終SSもしっかりと走り切り、クラス7位(総合35位)を獲得。無事に完走を果たすことが出来た。これほどの長距離ラリーを初めて経験した石黒だったが、来年KAYABA Rally Teamのドライバーとして全日本ラリー選手権に出場する為の素晴らしい経験が出来たことは間違いない。

Dr. 石黒 一暢 コメント

全日本デビュー戦ということで、これまで学んできた成果を発揮するつもりで挑みました。今回はプロのCo-Dr.の田中 直哉選手と組ませていただいたのですが、レッキ前の準備段階から様々なことを学ばせていただき、大変貴重な経験となりました。秋晴れとなったLEG1は7位で終え、入賞が狙える位置にもつけましたが、LEG2は朝から雨となり激しい順位争いを続けつつも、最終的にはライバルに及ばず7位でフィニッシュしました。

悔しい思いもありますが無事に完走できたことは及第点と捉えております。今年はまだ数戦の地区戦が残っており、出場する予定なので引き続き課題に取り組んで頑張りたいと思います。皆様、応援ありがとうございました。



Co-Dr. 田中 直哉 コメント



今回私もチームに初参加でしたが、1年間チーム活動されてきて、チームも初の2台体制での参戦でした。

テストの時からエンジニア、メカニック、マネージャーの連携や動きは申し分なく感じ、1年の集大成と言える働きだったのではないかと思います。

次回お会いした時は、更に力強く成長され、あと1分からまだ1分になっていることを楽しみにしています。ありがとうございました。



KAYABA Rally Team 参戦レポート

■チーム体制



- チーム : KAYABA Rally Team
- 監督 : 梶本 一憲
- チームアドバイザー : 奴田原文雄
- ドライバー : 横尾 芳則(#14)/石黒 一暢(#44)
- コ・ドライバー : 穴井 謙志郎(#14)/田中 直哉(#44)
- チーフエンジニア : 松下 雄介
- チーフメカニック : 山田 淳一(RUTS RACING)
- エンジニア : 柴田 究悟
- メカニック : 長江 将典、増谷 大志、松田 幸也、三國大河
- マネージャー : 伊藤、田中(UNDY)
- サポート : 濱崎/松尾/喜谷(KTMS)





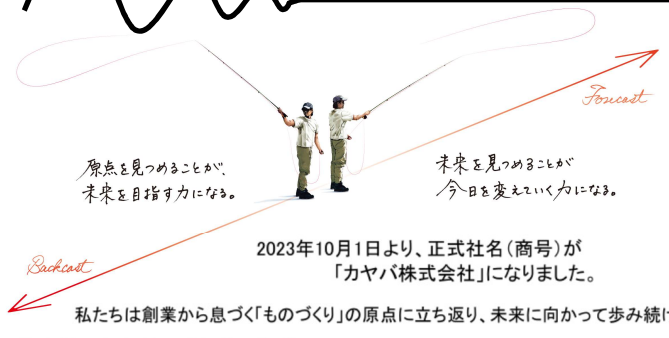
KAYABA Rally Team 参戦レポート



左:カヤバ展示ブース(コーヒーラウンジ、缶バッジ体験イベント、おくつろぎスペース、GRカラー展示、他) / 右上:ラウンジ受付、コーヒー準備風景
 左中:カヤバ展示ブース(ラリー用開発品ダンパー、市販製品展示@営業本部協力) / 右中:e-bike展示(KMS協力)
 下(左から2番目):缶バッジ(GRヤリス、歴代のカヤバラリーカー) / (左から3番目):カヤバキャンピングカー(CPC-PJ協力) / (左から4番目):カヤバキャンピングトレーラーによる表彰式ステージ(CPC-PJ協力)



写真は他にもたくさんございます ご連絡お待ちしております



原点を見つめることが、
未来を目指す力になる。

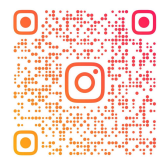
未来を見つめることが、
今日を変えていく力になる。

2023年10月1日より、正式社名(商号)が
「カヤバ株式会社」になりました。

私たちは創業から息づく「ものづくり」の原点に立ち返り、未来に向かって歩み続けます。



カヤバ株式会社
公式YouTube



カヤバ株式会社
公式Instagram



カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)

